

学校法人津曲学園

中期ビジョン

2022 ▶ 2026

理事長メッセージ

学校法人 津曲学園

理事長 津曲 貞利

本県においては、本格的な人口減少、少子・高齢社会の進行等により、各地域の活力が次第に低下する一方、進学や就職に伴う若者の流出も長年にわたり続いています。また、近年、学校教育を取り巻く環境も、私立学校法等の改正、大学認証評価制度の実施や大学入学共通テストの導入、修学支援制度等の実施、学習指導要領等の改訂など大きく変わっています。

このような中、2020（令和2）年に発生した新型コロナウイルスは、わが国の社会・経済活動はもとより教育現場にも大きな影響を与え、さらに現在に至っても終息の兆しが見えない状況にあり、各設置校は危機対応を図る中で、個性ある独自の教育を追求しているところです。

コロナ禍の中、産業構造や消費活動、デジタル技術、さらにはライフスタイルや人々の価値観さえも、過去に例のないスピードで変わろうとしつつある今、こうした危機をチャンスととらえ、意識改革、発想の転換を図るとともに、環境変化にスピード感をもって対応していく必要があります。

従来の常識の延長線上で考え、新たな取組に着手しなければ、激変する世の中の動きや他校の動きに取り残され、未来を支える将来世代の共感を得ることはできないと考えます。

このような厳しい状況の中にあって、本学園は『津曲学園中期ビジョン2017 ▶ 2021』を踏まえて、この5年間、各設置校の全教職員が一体となって各種取組を行った結果、入学者数も長年にわたる減少傾向から増加傾向となり、その結果、財務状況も好転しつつあります。

2023（令和5）年、本学園及び鹿児島高校は創立100周年を迎えるとともに、鹿児島国際大学においては看護学部（仮称）の開設を予定しています。さらにその先の2029（令和11）年に鹿児島幼稚園、2032（令和14）年に鹿児島国際大学がそれぞれ創立100周年、2033（令和15）年に鹿児島修学館が創立50周年と、これからの10年間に大きな節目を迎えます。

このような状況を踏まえ、このたび『学校法人津曲学園中期ビジョン2022 ▶ 2026』を策定しました。今後も続く教育改革の動きを踏まえるとともに、学生・生徒・園児の将来に大きな影響を与える社会経済情勢の変化にも強い関心を持ちながら、教職員一人ひとりが情報収集を行い、他者に学び、互いに連携しながら、勇気をもって本学園らしい新たな教育を創っていくことが切に求められます。本学園は今、次の飛躍への新たなスタート地点に立っています。

『学校法人津曲学園中期ビジョン2022▷2026』の策定について

1. 期間

ビジョンの期間は、2022～2026年度（令和4～8年度）の5年間とする。

2. 構成

基本構想 ～ 学園及び各設置校の基本理念及び10年後の目指すべき姿を具体的に示したもの

基本計画 ～ 基本構想を実現するための学園及び各設置校の基本的な計画であり、基本目標を踏まえた取組の方向性などを示したもの

事業計画 ～ 基本計画に基づき、学園及び各設置校が基本目標実現に向けて実施する5年間の主な取組を、スケジュール、数値目標などとともに示したもの

**財務・施設
・人事計画** ～ 施設・財務・人事についての今後5年間の基本的な考え方と具体的な見通しを示したもの

3. 推進にあたっての考え方

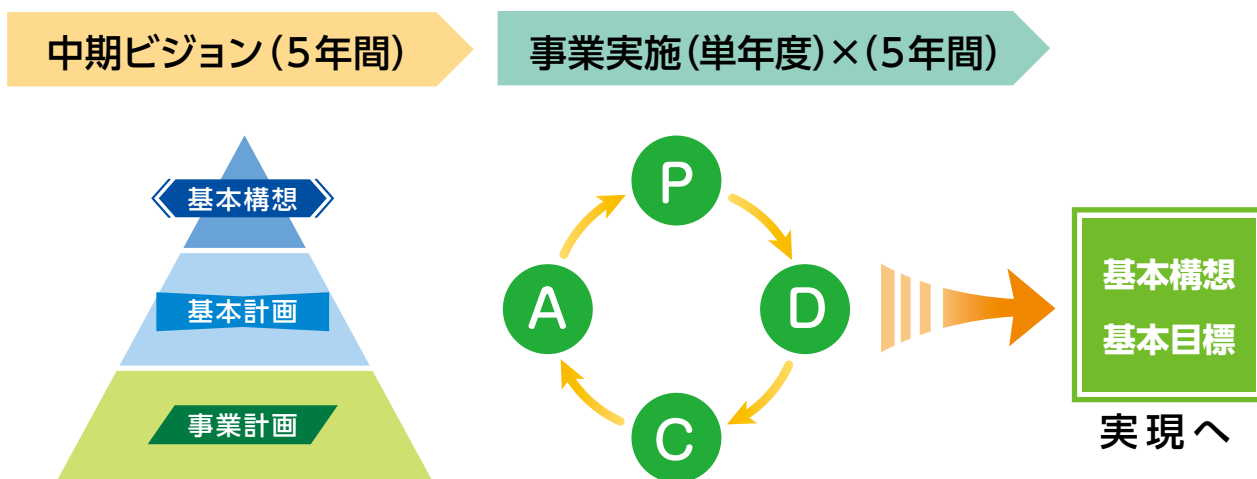
- ・今後、本ビジョンを踏まえた事業計画（単年度）を毎年作成し、実施する各事業については中間・最終評価を行い、改善・見直しにつなげていく。

P：毎年度、事業計画（単年度）及び基本目標別の業務実施計画（単年度）を作成

D：両計画に基づき事業実施

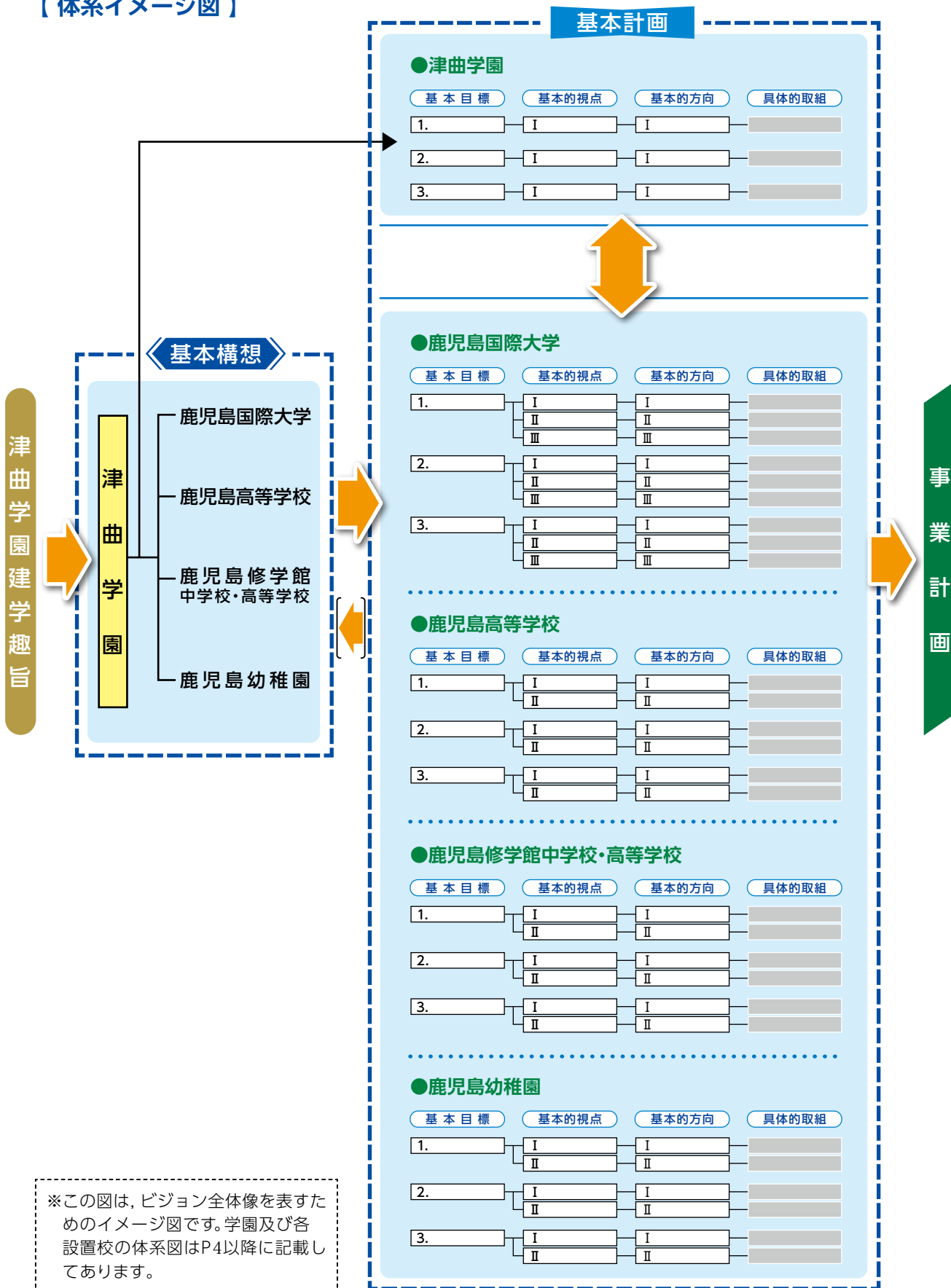
C：毎年度、9月末及び3月末時点における進捗状況、目標達成状況について業務実施計画をもとに中間・最終評価

A：中間・最終評価を踏まえ、改善・見直しを行う



中期ビジョン

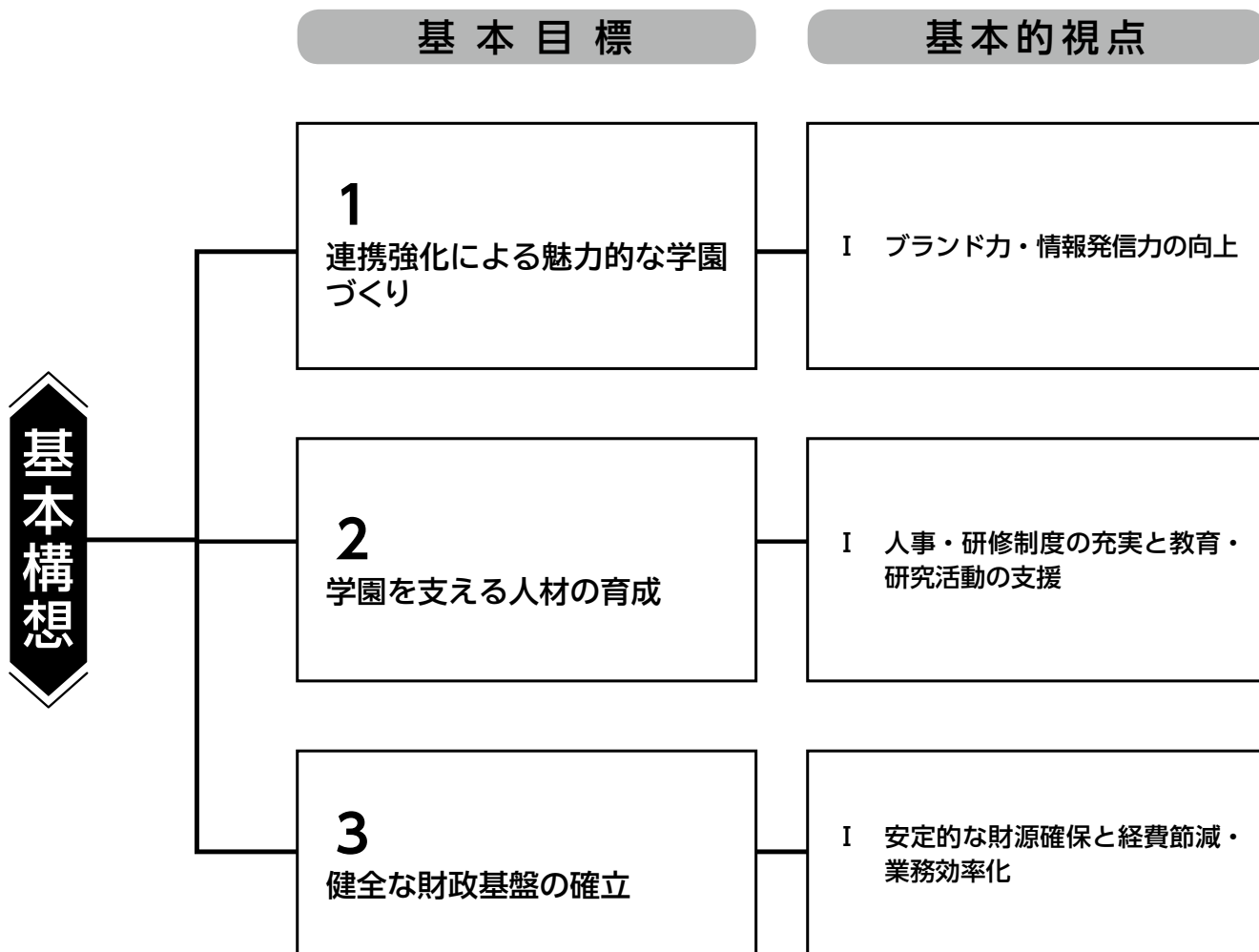
【体系イメージ図】



※この図は、ビジョン全体像を表すためのイメージ図です。学園及び各設置校の体系図はP4以降に記載してあります。

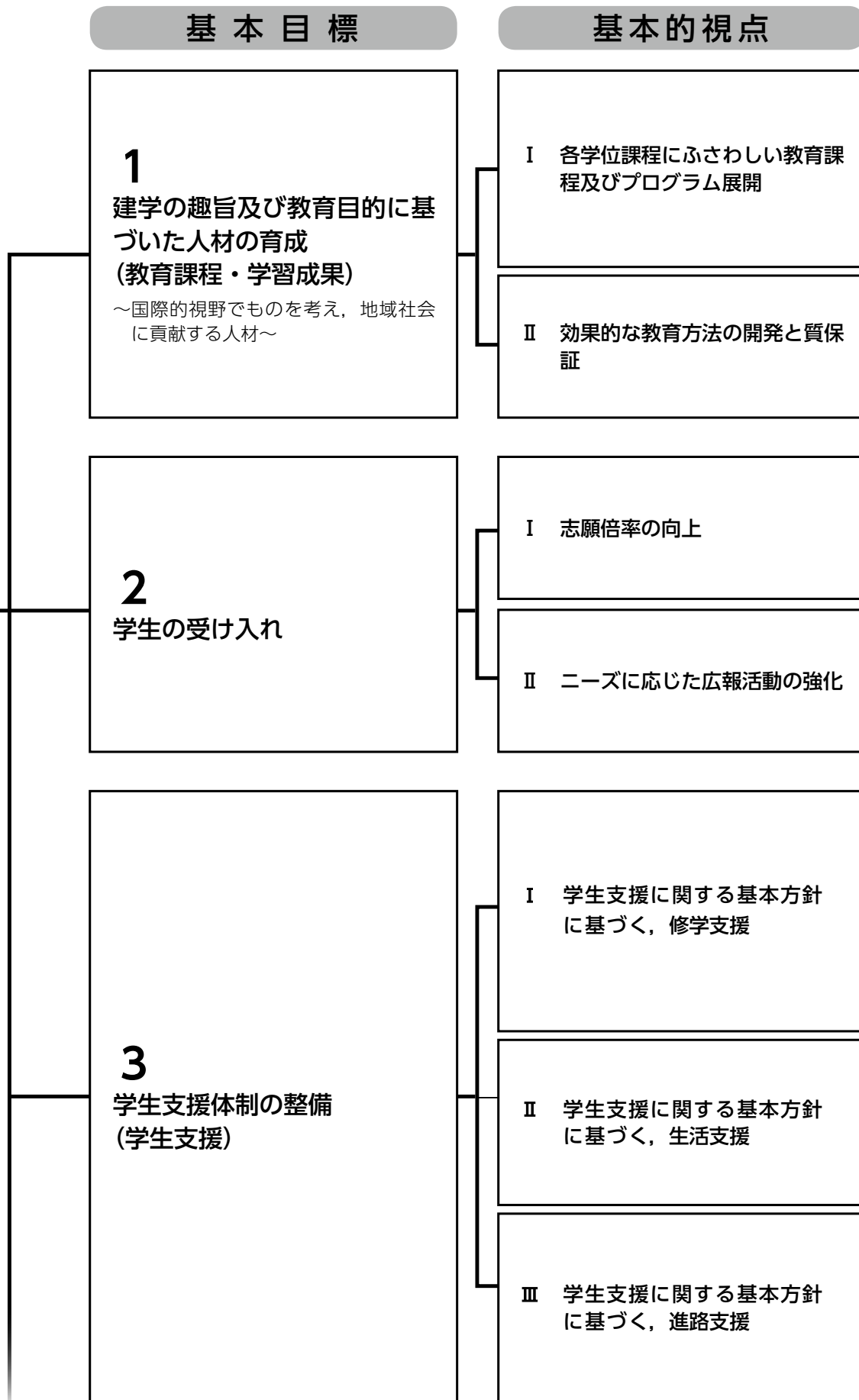
体系図

●津曲学園

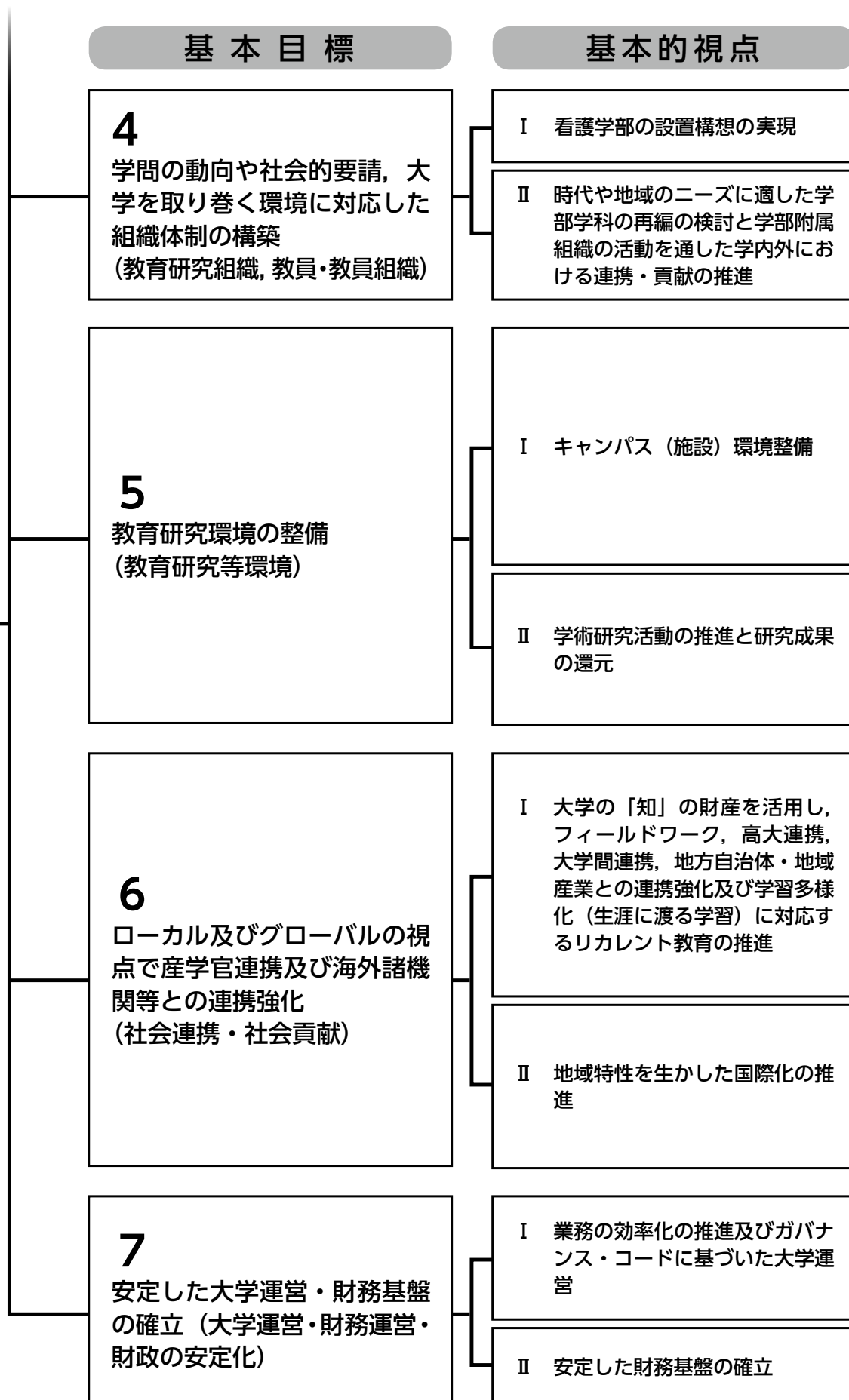


●鹿児島国際大学

基本構想

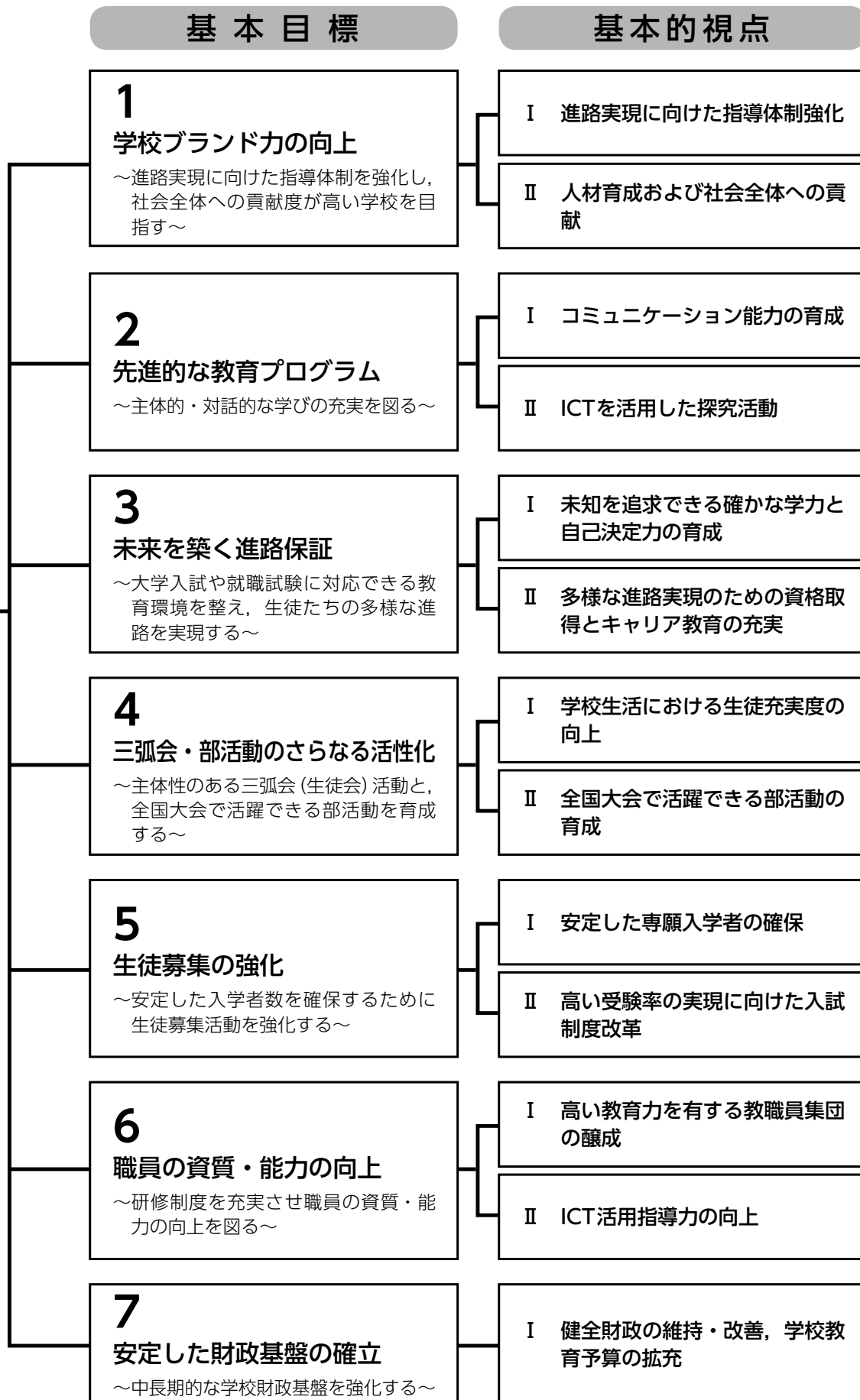


基本構想



●鹿児島高等学校

基本構想



●鹿児島修学館中学校・高等学校

基本構想



●鹿児島幼稚園

基本構想

